

私たちの町の遺跡 大名墓物語 細川家の人々

■第4話 奥様は偉かった

細川家藩主歴代の墓は、北岡自然公園にある妙解寺（みょうげじ）跡にあります。それでは藩主の奥様の墓は？というのと、原則、江戸にあります。藩主の奥様は江戸で人質として暮らしているのです、江戸で亡くなり、江戸の墓所に葬られるからです。ところが…

江戸で亡くなったにもかかわらず、国元の妙解寺に墓が造られた奥様が1人だけいるのです。熊本細川藩の初代忠利の奥様で、2代光尚の母でもある千代姫です。初代將軍徳川家康のひ孫にあたり、2代將軍秀忠の養女として忠利に嫁いだ方です。養女を嫁がせるというのは、將軍家の外様大名に対する懐柔策です。それにしても実際に家康の血続きの姫を嫁がせたのは、それだけ細川家が重視されていたということでしょう。徳川のお姫様ということになると扱いも特別だったようで、三斎忠興も忠利への手紙のなかで「千代姫様」と、息子の嫁なのに「様」付けで呼んでいるくらいです。

千代姫の墓は、霊屋（たまや）・拝殿を備えた立派なものです。あえて国元に造られた奥様の墓。それは家来たちに対して、藩主一族が將軍家と親戚にあたる権威ある家であるということを見ただけで判るようにする効果を狙ったもの、といえるでしょう。

熊本市文化振興課 美濃口雅朗氏

江戸に妻子を人質代わりに
留め置いて、大名の幕府への
反乱を防ぐ仕組み
よく考えたモンだな

